アミスルブロム・シモキサニル水和剤

ダイナモ顆粒水和剤

成分: アミスルブロム [スルホンアミド系] …………17.0% シモキサニル [シアノアセトアミド系 PRTR・1 種] …30.0% 取扱メーカー:

日産

原体メーカー: 日産、デュポン

性状:淡褐色水和性細粒

毒性:普通物 消防法:——

- ●長期の予防効果と感染直後の治病効果を有する。
- ●成分は病原菌の遊走子に作用、感染後でも遊走子の形成を阻害し、二次感染を阻止することができるので、病害のまん延を抑えることができる。
- ●ばれいしょでは塊茎腐敗に効果が期待できる。
- ●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- ●長期残効性により7~14日間隔のダブルインターバル散布が可能。
- ●多雨,日照不足が続く時は,感染危険期間であるので,散布を開始する。

【薬効・薬害等の注意】 …………

●石灰硫黄合剤やボルドー液等アルカリ性農薬と の混用はさける。

- ●散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び 散布方法に合わせて調節する。
- ●ねぎ、たまねぎのべと病に使用する場合、出来 るだけ発病前又は発病初期に散布する。
- ●ばれいしょに対して希釈倍数500倍で散布する 場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗 用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する。
- ●適用作物(ぶどう)の薬害などの注意は「薬害 注意事項解説」を参照。

●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



作物名	適用 病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	アミスルブロムを含む農薬の 総使用回数	シモキサニルを含む 農薬の総使用回数
ぶどう	べと病	3000~ 5000倍	200 ∼ 700 ℓ	21日前 まで			3回以内	
きゅうり		2000~		前日まで			4回以内	
ミニトマト	疫病	5000倍	-	13 11 5 (3回以内			3回以内
だいず	べと病		100~	7日前まで			4回以内 (種子への処理は1回 以内,散布は3回以内)	
ね ぎ		2000倍	300 ℓ		4回以内	散布	4回以内	4回以内
たまねぎ	べと病 白色疫病			3日前まで	3回以内		3回以内	3回以内
バジル	べと病				2回以内		2回以内	2回以内
ばれいしょ	疫病	2000~ 3000倍 500倍	25 ℓ	7日前まで	4回以内		5回以内 (植付前は1回以内, 植付後は4回以内)	4回以内
さといも		2000倍	100 ~ 300 ℓ	21日前 まで	3回以内		3回以内	3回以内